

## ◎九州総合通信局長表彰

### 電波の日表彰受賞者（3団体）

① 宮崎県えびの市 様（みやざきけん えびのし）

（代表：市長 村岡 隆明）（むらおか たかあき）

平成23年度から2年にわたり開催したホワイトスペース利用による無線アクセスシステムの実用化に向けた調査検討において、技術基準案策定の要となる実証試験フィールドの提供を行うなど、電波資源の有効活用に多大な貢献をされました。

② 鹿児島県霧島市 様（かごしまけん きりしまし）

（代表：市長 前田 終止）（まえだ しゅうじ）

地上テレビ放送のデジタル化にあたり、市独自の支援制度の創設などにより九州地域で最も多い新たな難視地区を解消し、地上デジタル放送への移行対策の推進に多大な貢献をされました。

③ 大分県電波適正利用推進員協議会 様（おおいたけんでんぱてきせいりようすいしんいんきょうぎかい）

（代表：会長 國廣 秀光）（くにひろ ひでみつ）

電波の適正な利用を推進するため、長年にわたり県内での周知啓発を積極的に行うとともに、電波教室を開催し電波の正しい利用について子供たちの理解を深めるなど、電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

### 情報通信月間表彰受賞者（3個人・3団体）

① 岸本 晃 様（きしもと あきら）

（NPO法人くまもと未来 理事長）

地域の情報を住民自ら制作・発信する「住民ディレクター」構想を発案するとともに、全国ネットワーク化を実現し、NPOなどによる情報受発信をサポートするなど、地域情報化の進展に多大な貢献をされました。

② 曾我 邦彦 様（そが くにひこ）

（株式会社童謡 代表取締役）

九州管内のPTA研修会などにおいて、スマートフォンなどを安心・安全に利用するためのコーディネータを務めるほか、総務省における青少年インターネット環境に関する研究会のメンバーとして青少年の情報リテラシー向上に多大な貢献をされました。

③ 山中 守 様（やまなか まもる）

（国立大学法人熊本大学教育学部 教授）

長年にわたり、戦略的情報通信研究開発推進制度における九州管内の地域ICT振興型プログラムの評価委員長を務めるなど、ICT分野の研究開発の推進をはじめ地域経済の活性化に多大な貢献をされました。

④ 佐賀県教育委員会 様（さがけんきょういくいいんかい）

（代表：教育委員長 牟田 清敬）（むた きよたか）

先進的 I C T 利活用推進事業を佐賀全県で展開し、電子黒板や学習者用端末等 I C T 機器を利活用した授業を本格的に推進するなど、教育の情報化に多大な貢献をされました。

⑤ 大分県 様（おおいたけん）

（代表：知事 広瀬 勝貞）（ひろせ かつさだ）

災害時における避難勧告等の県民への周知や報道機関への情報提供を迅速化させる公共情報コモンズを導入するなど、I C T による防災対策の推進に多大な貢献をされました。

⑥ 鹿児島県肝付町 様（かごしまけん きもつきちょう）

（代表：町長 永野 和行）（ながの かずゆき）

町の情報化を牽引する「N P O 法人きもつき情報化推進センター」の設立及び運営を支援するとともに、人材育成も含めた総合的な地域活性化を継続的に進める取り組みを行うなど、先進的な I C T 利活用の推進に多大な貢献をされました。

## ◎九州電波協力会長表彰

### 表彰受賞者（2団体）

① 総務省長崎県テレビ受信者支援センター 様（そうむしょうながさきけんてれびじゅしんしゃしえんせんたー）

（センター長 村山 達也）（むらやま たつや）

地上テレビ放送のデジタル化にあたり、離島や外国波混信の影響を受ける世帯が多い長崎県内において、受信相談や現地調査などの受信者支援及び共聴施設のデジタル化並びに難視地域の解消促進に尽力されるなど、多大な貢献をされました

② 総務省熊本県テレビ受信者支援センター 様（そうむしょうくまもとけんてれびじゅしんしゃしえんせんたー）

（センター長 岡本 範夫）（おかもと のりお）

地上テレビ放送のデジタル化にあたり、多数の新たな難視地区を抱える熊本県内において、受信相談や現地調査などの受信者支援及び共聴施設のデジタル化並びに難視地域の解消促進に尽力されるなど、円滑な移行に多大な貢献をされました。